



た なか かず よし
田 中 千 福

けん と
県都クラブ

地域包括ケアシステムの構築に向けて

問 地域包括ケアシステムとはどのようなシステムなのか。今後どのような計画のもとで実践されていくのか。また、高齢者が地域で生活していく上において、安全で安心して生活していくための支援をする生活・介護支援サポーターの養成状況と、地域包括支援センターの役割とは。医療機関との連携は最も重要な要素であるが、どのように連携していくのか。

答 地域包括ケアシステムは、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい生活を最後まで続けられるよう、介護・医療・予防・生活支援・住まいが包括的に確保される体制である。それには在宅医療の充実、医療・看護・介護・福祉の連携、認知症対策、各地域のコミュニティ強化を行い、それぞれの取り組みを結び付けていく展開が必要である。生活・介護支援サポーターには372人が登録し、活躍の場を広げている。地域包括支援センターは、地域や関係機関との橋渡し等、スムーズな介護・看護・福祉の体制が取れるよう支援する機関であり、各分野の専門職を配置している。医療機関との連携は、在宅医療が中心になるため、適切な時期に必要な医療が受けられる体制を構築する必要がある。

●その他の質疑・質問●

- 農業法人について
 - 農業経営力向上支援事業とは
 - 農業法人はいくつあるのか
 - 法人化することのメリットは
 - 農業法人の耕作面積と割合は
 - 法人化の推進とその方策は
- 地域ケア会議について
- 「徘徊SOSネットワーク津」について
- 津市水道水源保護条例と三重県の条例との整合について



▲各専門分野の関係機関との調整役、地域包括支援センター



かわ くち かず お
川 口 和 雄

しん わ かい
津 和 会

津市観光協会に対する監査からの指摘事項

問 平成24・25年度に津市観光協会へ支給された補助金は、各事業へではなく、一律5350万円と丸投げで、使途は定めず自由である。さらに、実績報告書は収支決算書だけで、領収書等詳細な書類は一切なく、市も厳格なチェックは行わず、補助金が予算を超えなければ適正と判断している実情に対して、監査から厳格な事務処理の徹底が指摘されたが、迅速に調査できるのか。

答 津市観光協会が実施していた既存の事業について検証等を行い、平成27年度から各事業の趣旨や市との役割分担を明確にし、同観光協会の事業と補助金の在り方を見直している。その上で、津市観光協会へは補助金を交付している以上、監査や検査の責任があり、その権利もあることから、書類の閲覧や聴取をしっかりと行っていきたいと考えている。

また、平成24年度の日本語版パンフレット作成に係る会計処理は適正であったのか、平成25年度の駅前観光案内所における物品販売事業の会計区分に不適切な取り扱いがあったのではないかなど、今回、指摘のあった事項については、あらためて調査していく。

●その他の質疑・質問●

- 津市観光協会のさまざまな疑惑問題について
 - 海外誘客パンフレット作成業務委託の契約不履行問題について
 - 法人税法違反について



▲津市観光協会が運営する観光案内所